

米国の防衛産業セキュリティに関する 講演会を開催

(一社)日本航空宇宙工業会は、(一社)日本防衛装備工業会及び(一社)日本造船工業会(以下「3団体」)との共催により、9月19日(火)、米国防産業協会 国際委員会 委員長 Wayne Fujito氏、米国防省技術保全管理局 国際保全プログラム部長 Peter Batten氏を講師にお招きし、米国の防衛産業セキュリティに関する講演会をグランドヒル市ヶ谷にて開催しました。

3団体は、近年のサイバーセキュリティの動向及び情報保全や防衛調達基準に対する企業の関心の高まり、並びに我が国企業が保有する技術の適切なマネジメントが必要であることを踏まえ、本年2月に有識者をお招きし「米国立標準研究所(NIST)主導で進むサイバーセキュリティの技術標準と調達基準」に関する講演会、同8月には経済産業省幹部をお招きし「日本を取り巻くサイバー攻撃の趨勢と脅威、製造産業における重要技術の情報管理のガイドライン」に関する講演会を開催

しました。(一社)日本防衛装備工業会と当工業会は米国防産業協会と実施している防衛産業間対話において防衛産業セキュリティの重要性を共有しており、本講演会は、これら講演会に引き続き、米国防省が実際に進めている産業セキュリティの重要性、施策、規則、内容等に関し、米国防省幹部から直接説明を受け、日本企業に求められる対応等について、会員企業の皆様に情報収集と質疑応答の機会を提供したものです。

当日は、日本側から外務省、経済産業省及び防衛省並びに3団体会員企業、米国側から米国大使館及び米国企業、計約190名が出席し、米国における産業保全のルール、産業保全の観点からサプライチェーンに参画する際の留意点など、多くの質問が出席者から出され、会員企業の皆様の関心の高さが窺えました。講演会当日の演題及び講演者は以下のとおりです。



米国防省 ピーター バッテン氏



米国防産業協会 ウェイン フジト氏

1. 講演の目的、位置付け

講師 Chairman, International Division,
National Defense Industrial Association
Mr. Wayne Fujito
(米国防産業協会 国際委員会 委員長
ウェイン フジト氏)

2. 米国における防衛産業セキュリティの最新
状況

講師 Director, International Security
Programs, Defense Technology Security
Administration, Office of the Under
Secretary for Policy, Department of
Defense
Mr. Peter R. Batten
(米国防省 技術保全管理局 国際保全
プログラム部長
ピーター バッテン氏)



質疑応答中のピーター バッテン氏



会場の状況

〔(一社) 日本航空宇宙工業会 業務部長 杉原 康二〕